

東京都立羽村高等学校

令和5年度 年間授業計画

教 科 : 理科

科 目 : 地学基礎

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第3 学年 1組～7組

教科担当者 : (1組, 2組, 5組, 6組 : 貞廣 佳伸) (3組, 4組 : 西尾 香織) (7組 : 桶田 知良)

使用教科書 : 地学基礎 新改訂 (実教出版)

使用教材 : ビジュアルプラス地学基礎ノート (実教出版), ニューステージ地学図表 (浜島書店)

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	ガイダンス 1 地球の形と大きさ 2 回転する地球 3 地球内部の層構造 4 地球の内部構造の推定	・地球の大きさや形の計測方法がわかる。  ・地球の内部が密度成層になっていることがわかる。		8
5月	5 火成岩とその区分 6 様々な岩石とその循環 中間考査 7 プレートテクトニクス 8 プレート運動と大地形	・地球内部の物質構成や岩石の種類がわかる。 ・岩石の種類から地球の過去の様子が推定できることがわかる。  ・プレート運動によって地表の大地形が形成されていることがわかる。	・プリント ・振り返り	6
6月	9 プレート運動と地震 10 プレート運動と火山 11 マグマの発生と火山 12 火山噴火	・プレート運動によって地震や火山活動が引き起こされていることがわかる。  ・火山噴出物から火山噴火の様子が推定できることがわかる。	・定期考査	8
7月	13 地震波からわかること 14 地震と地殻変動 期末考査 DVD視聴	・観測した地震波の形状から地震の様子を推定できることがわかる。  ・映像による1学期の学習内容の振り返り		4
9月	15 大気圏 16 大気の層構造 17 大気の熱輸送 18 雲のでき方	・地球の大気は温度傾度によって4層に分類されることがわかる。  ・大気によって地表付近に熱が蓄積され、地球の平均気温15°Cが保たれていることがわかる。		8
10月	19 地球の熱収支 20 大気の大循環 21 海水の運動と循環 22 日本の気象と気候 中間考査	・大気や海水は気圧や温度の差によって流動することがわかる。  ・地上天気図の等圧線分布から日本列島の気象現象を読み取ることができる。	・プリント ・振り返り	8
11月	23 流水の働き 24 地層からわかること 25 地殻変動と地形 26 化石と地層の対比	・地層の構造や堆積順序から過去の環境を読み取ることができる。  ・地層の構成物質から過去の環境を読み取ることができる。	・定期考査	8
12月	27 地球の誕生と地質時代 28 先カンブリア時代 29～31 古生代～新生代 期末考査 DVD視聴	・地球大気の組成の変化によって地球環境の変化や生物進化がおこったことがわかる。  ・温暖化によって海水面が変化することがわかる。  ・映像による2学期の学習内容の振り返り		6
1月	32 太陽系とその構造 33 太陽のすがた	・太陽からの距離や惑星の大きさによって惑星の環境が決まることがわかる。	・プリント	6
2月	34 太陽の誕生と進化 34 太陽の誕生と進化	・恒星の一生についてわかる。		8
3月				
				70